

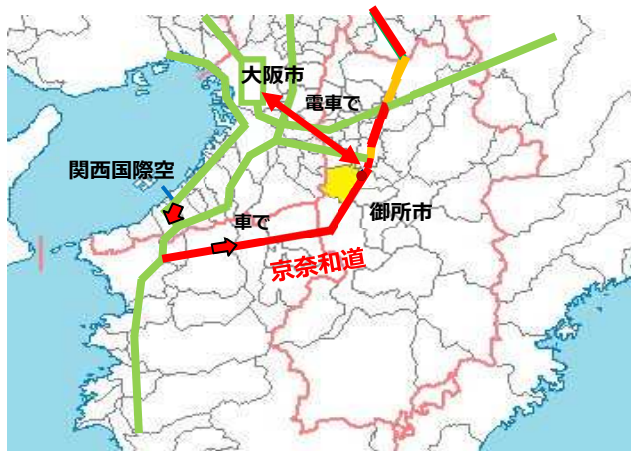
I. 地理と歴史

統計からみた御所市のすがた 令和6年度改訂版

1. 歴史・位置

■沿革

- ・昭和29年1月1日
秋津村が南葛城郡御所町に編入
- ・昭和30年2月1日
掖上村が南葛城郡御所町に編入
- ・昭和31年9月1日
葛城村と吐田郷村が合併
葛上村が発足
- ・昭和33年3月31日
南葛城郡御所町、葛城村、葛上村
大正村が合併し御所市が発足



■位置



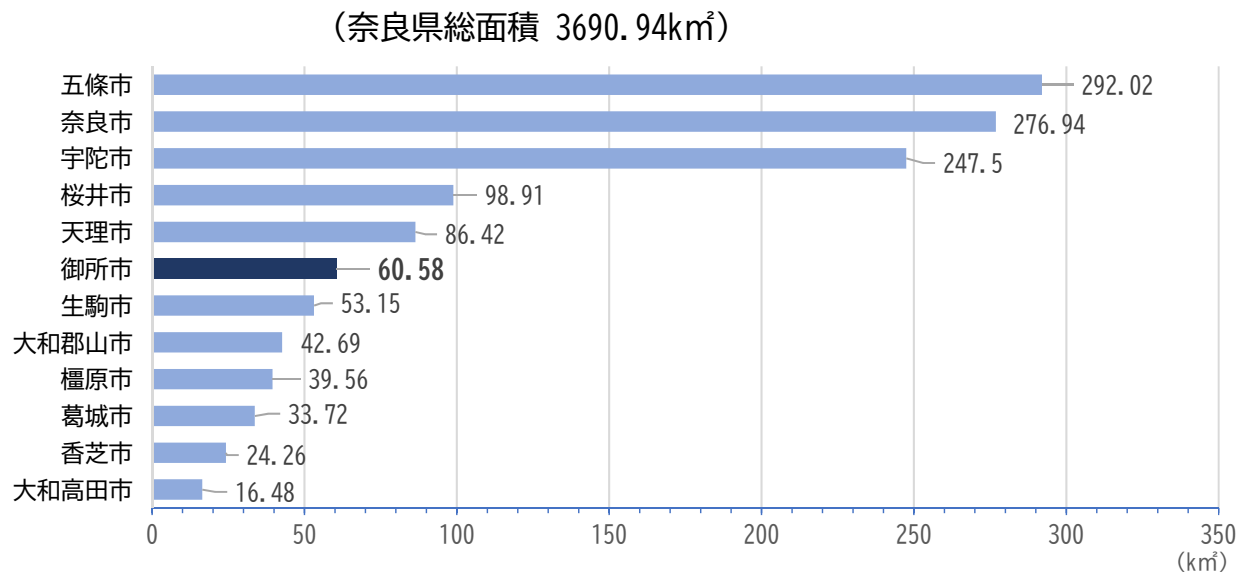
御所市は昭和33年3月31日に、奈良県で8番目の市として誕生しました。

奈良盆地の南西部に位置し、西は葛城山（標高959.7m）、金剛山（標高1,125m）が南北に連なっており、南東部には巨勢山丘陵地など、標高150～350mの丘陵地があり、そこから平地の広がる緑豊かな自然に囲まれた田園都市です。県内では葛城市・大和高田市・橿原市・五條市・高取町・大淀町に接し、西側は大阪府の河南町・千早赤阪村と接しています。

大阪市内までは鉄道を利用し約40分、近畿の空の玄関口である関西国際空港へは京奈和道を利用し約60分と、大都市近郊としての立地性を持っています。

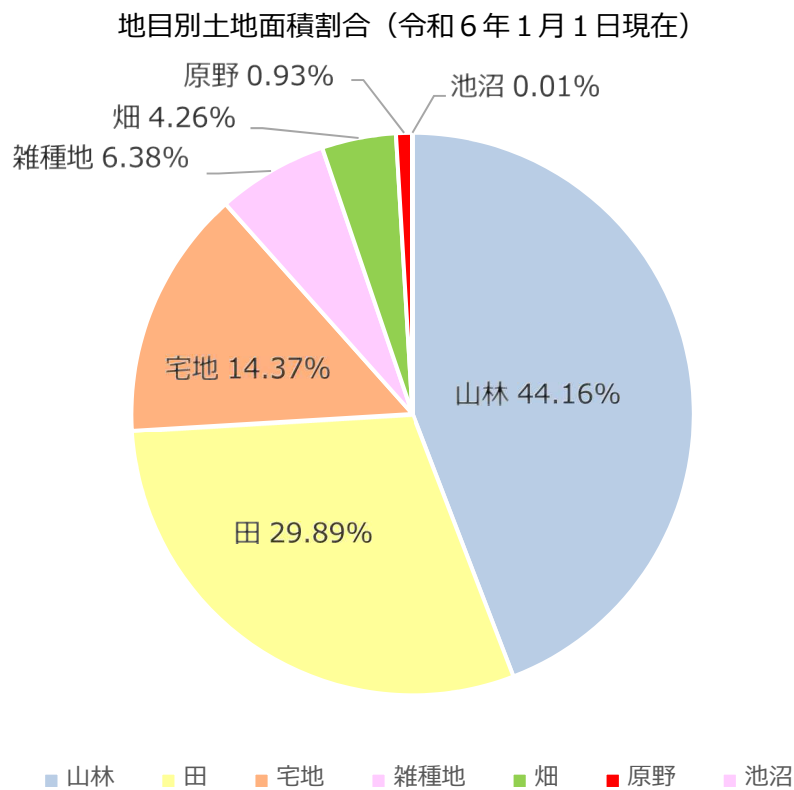
2. 面積・地勢

■県内12市 総面積（令和5年10月1日時点）



出典：国土地理院『令和5年 全国都道府県市区町村別面積調（10月1日時点）』を基に作成

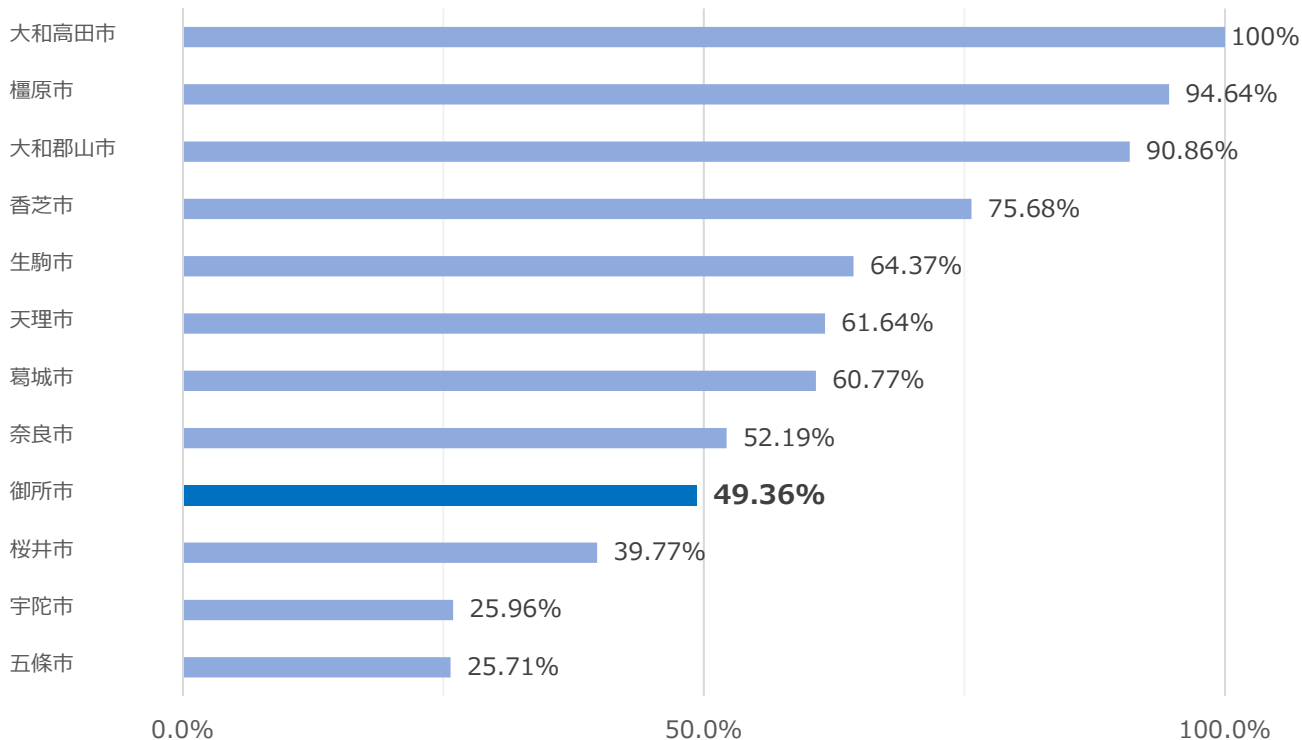
■地目別土地面積割合



出典：御所市税務課保有資料を基に作成

2. 面積・地勢

■可住地面積割合（令和5年）



出典：総務省統計局『統計でみる市区町村のすがた 2023』を基に作成

データから読み取る

御所市の面積は 60.58K㎡で奈良県全体の面積の約 1.6%であり、県内 39 市町村中 17 番目の広さです。

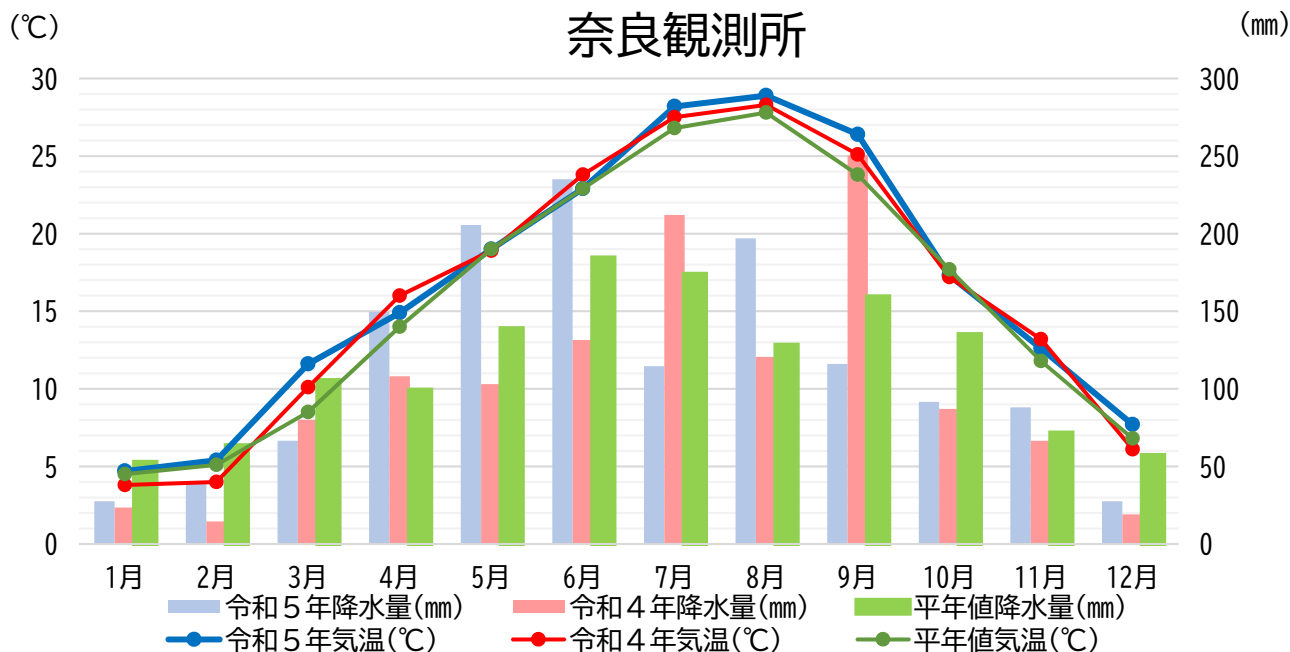
地目割合では山林が最も多く、総面積の約 44.2%を占めています。

可住地面積割合は 49.36%で、市の面積のうち約半分が、居住や農業等が可能な土地であることが分かります。

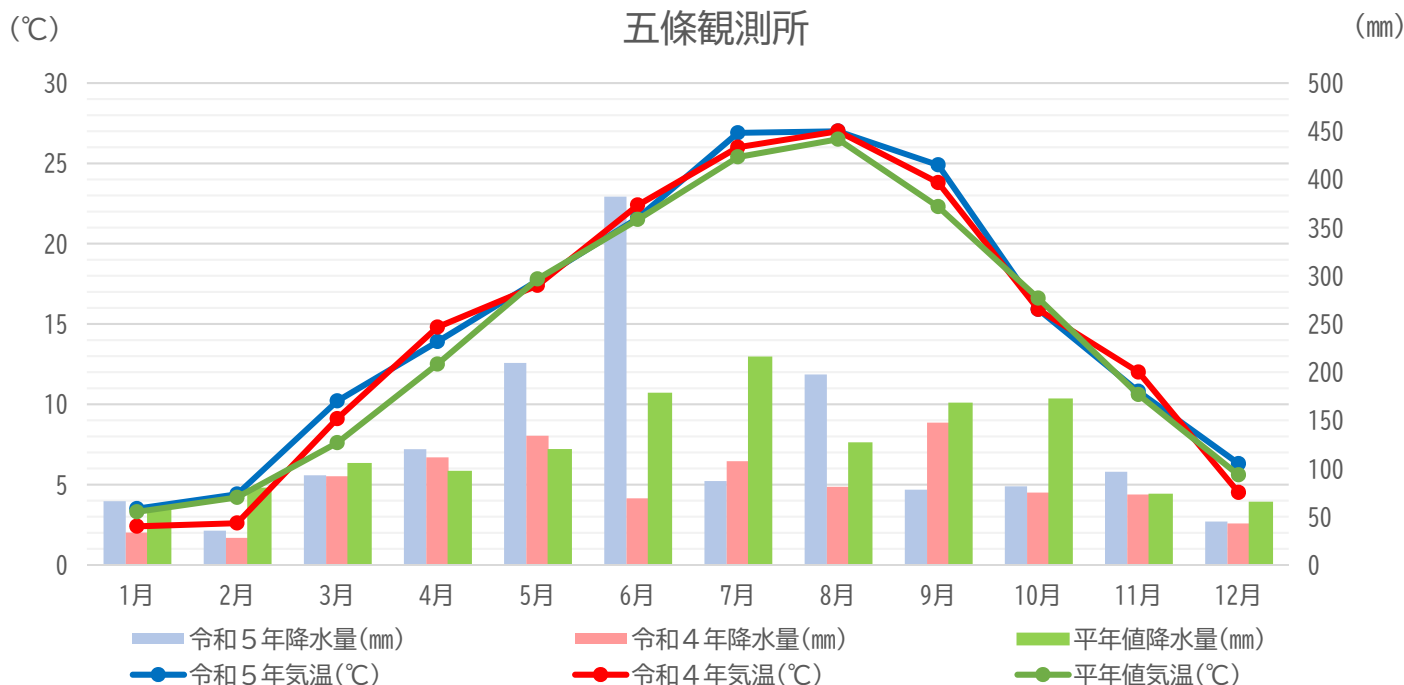
3. 気象

■月別平均気温・降水量（令和4年）

（平野部）



（山間部）



出典：気象庁『気象観測データ』を基に作成

データから読み取る

気候は北部の平野部と南部の山間部とで少し異なり、気温は約1度から2度程度の差があります。また、降水量は両地点とも6月が平年を大きく上回っております。線状降水帯が発生したためこの間の棒グラフが突出して高くなっていることが特徴的です。